特集 新型コロナウイルスを知る!

新型コロナウイルス感染症の概要と県の対策（2020年6月8日現在）

弘前大学医学部附属病院　感染制御センター　教授　萱場　広之

本記事では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の青森県における概要を中心に紹介してまいります。原稿は2020年6月に執筆されたものですので、皆様のお手元に届くころにはデータがいささか古いものとなっていることをお許しください。本記事をお読みになっている皆様が新しい生活様式に慣れつつ、落ち着いた社会状況の中でお過ごしになられていることを切に願いつつ、筆を進めて参ります。

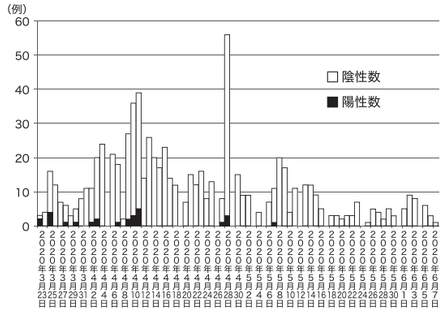
【日本、世界の状況】

さて、2019年末に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に拡散しました。日本では年が明けた2020年1月15日に神奈川県で第一例目が診断されました。当初は綿密なクラスター分析によって感染経路が追える状況でしたが、感染源不明者が徐々に増加し感染爆発への危惧が高まりました。政府は、4月7日に東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言を出し、国民の健康を守るために社会活動の制限に踏み切りました。4月16日には宣言は全国に拡大されて、人の移動、教育、経済活動に大きな影響が出ました。新規患者数は、4月11日には720人を記録しましたが、その後減少に転じました。宣言は5月14日に39県で、同25日に全国で解除となりました。2020年6月7日までに日本国内の累積患者数は17,131人、死亡者数は914人（5・3%）となっています。日本では一応の落ち着きを見せていますが、世界では、南米、米国などでは苦しい対応が続いており、全世界の累積患者数は689万人あまり、死亡者は約40万人に達しています。今後もアフリカなどの発展途上国を中心に感染拡大が続く可能性があり、心配されています。また、日本国内でも宣言解除後も北九州市や東京でのクラスター発生が見られており、第二波の発生に神経をとがらせているところです。

【青森県の状況と対策と関連ウェブサイトのご紹介】

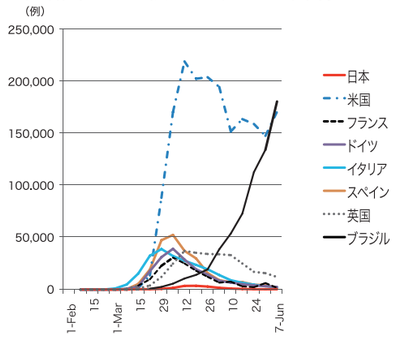
青森県では、令和2年2月17日に「新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部」を設置し、第一回の危機対策本部会議を開催しています。県内の患者発生を受けて設置されるのが通例のようですが、国内外の発生状況などを配慮して県内患者発生前に設置したものと思われます。本部会議は5月27日までに13回開催され、医療、福祉分野は勿論、経済、教育、市民生活、広報など適宜対応が検討されています。本部会議の情報は、「新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議の開催について」（表1：青森県が提供する新型コロナウイルス関連ウェブサイト（抜粋）❶）から閲覧が可能です。青森県における患者の発生は3月23日に八戸市で海外旅行から帰られた方が発症されたのが最初の例になります。その後5月7日までに27例の患者発生がありました。いずれの場合も迅速に接触者のリストが作成されるとともに、PCR検査を含めて状況に応じた対応がとられており、感染拡大の抑制に成功しています（図1）。日本全国の患者発生状況をみても、患者発生数のカーブは諸外国に比してピークが低く抑えられ（図2）、社会機能をある程度保持したまま、第一波を乗り切ることに成功したと考えて良いでしょう。因みに青森県は患者数では47都道府県中38番目です。下から10番までには本件を含めて北東北3県が入り、あとは九州3県、山陰2県、四国1県が含まれます。トップ10は大都市圏が占めています。ヒトーヒト感染ですから、人の密度や移動の多さが素直に反映されているようです。今回のような流行する感染症においては、市民の感染症に対するご理解と、生活における実践が何よりも大切です。特に、今回のCOVID-19では、予防のためのワクチンも特効薬もないのですから、市民の行動が自分自身や社会全体を守る唯一の方策とも言えるのです。ですから、市民の皆様に向けた情報提供、広報、啓発は大変重要です。また、市民側としては、提供される情報を受け取るばかりでなく、積極的に関心を持って情報を集めることも重要です。今年1月1日から6月7日までの間にインターネットでどれだけ〝コロナ〟という言葉の検索が成されたのかをグーグルトレンドという検索システムで調べてみますと、検索ボリュームという指数が表示されます。この指数は色々な補正がされているのですが、ごく簡単に言ってしまえば〝コロナ〟という言葉に人々がどれだけ特別な関心を寄せたかという指標と捉えて良いと思います。この指

図1
青森県におけるPCR検査数の推移



※保険適用検査分を含む。退院確認検査を含まない。
青い森オープンデータカタログ（https://opendata.pref.aomori.lg.jp/dataset/1531.html）より作成。
陽性者は6月7日までの累積27例、検査数は累計788例陽性率3.4%。

図2
新型コロナウイルス感染症新規患者数の推移
（欧米諸国との比較、1週間ごと集計）



WHO Coronavirus disease (COVID-19) Situation Reportsをもとに作成。
https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/situation-reports
2020年6月9日参照。